

生活

〈虫食いことわざ〉

五つの慣用句の漢字だけを抜き取りました。四角にリストの漢字のどれかを入れて、五つの慣用句を復元してください。(出題・今井洋輔)

- □ に □ える
- □ り □ □ り
- □ の □ を □ る
- □ り □ □ しい
- □ □ に □ れる

(リスト)

線折正触斜構琴
利目鳴物入得地

脳トレ道場

答えは27面

難聴と認知症 関連性を講演

6日、新潟 日本耳鼻咽喉科学会県地方部会などは3月6日午後2時、新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで公開講座を開く。

新潟大学大学院医歯学総合研究科の堀井新教授を座長に、聞こえの仕組みや認知症との関わりについて講演する。無料。申し込み不要で先着150人。問い合わせは新潟大医学部耳鼻咽喉科学教室、025(227)2306。

認知症のリスクを軽減することが期待される補聴器。多種多様なタイプがそろつ



県内の65歳以上の高齢者は20年が72万2千人。県は25年にはピークの73

補助、県内は4市町村

日本耳鼻咽喉科学会県地方部会は、補聴器の購入費助成の実施を各市町村と県に働き掛けている。同部会によると、県内では昨年4月に阿賀野市、三条市、聖籠町、刈羽村が助成制度を開始。今年4月に見附市が加わるが、限られた自治体にとどまっているのが現状だ。

阿賀野市は18歳以上の身体障害者手帳の対象にならない軽・中等度難聴者に、補聴器購入費の半額(上限3万円)を助成している。市は「難聴による社会参加や外出機会の減少を防ぎ、認知症やうつ病、引きこもりなどの予防を図りたい」とする。2月10日現在、助成を受けた人は40~80代の37件で、70代が約半数を占める。

同市の助成を使い、補聴器を購

入した坂井信さん(74)は「装着時の違和感はあるが、早めに着けた方がいいと考えた」と話す。年金生活の中、市の助成が後押しになったという。

日本補聴器販売店協会によると、補聴器は片耳で5万~50万円台と多種多様だ。同会の佐藤誠理事長=新潟市中央区=は「補聴器は個人の状況に合わせて選ぶ医療機器で、生活に沿って微妙な調整をしていく必要がある」とし、必ず耳鼻咽喉科を受診した上で、販売店で購入するよう呼び掛ける。

一方、新潟市は「日本で補聴器を着けることで認知症が予防されるという研究成果がない」などとして助成制度を見送っている。こうした声を踏まえ、新潟大では阿賀野市、三条市の医院と新大病院

3月3日は「耳の日」。近年、難聴の人は認知症のリスクが高まるといわれている。聞くことだけに集中し他の知的活動が低下することや、会話がおっくうになり社会的孤立を招くことなどが背景にある。県内の耳鼻咽喉科医師らは1

日、県庁で会見し、「認知症を防ぐためには、補聴器の使用が効果的」と訴え、自治体に対し補聴器の購入費助成制度の導入を呼び掛けた。(報道部・本間美季子)

きょう「耳の日」

難聴は認知症を引き起こす要因とされている。国は2015年に策定した認知症対策の新オレンジプランで、「加齢」「遺伝性」の「二重」を「難聴を危険因子とした。また、英国などの研究グループは17年、認知症の約35%が、リスクとなる疾患や生活習慣を改善することで予防できる可能性がある」と発表。九つのリスクのうち、難聴が最も高く、約9%の人は中年期の難聴を回避すれば防止できる可能性があるとした。小児期の教育期間の短さが約8%、高齢期の喫煙が約5%と続いた。



認知症予防のため補聴器助成の制度化を訴えた日本耳鼻咽喉科学会県地方部会のメンバー=1日、県庁

で補聴器を使用する患者を対象に、認知症の進行を確認する調査を始めている。

同部会の部会長で、新潟大学大学院医歯学総合研究科の堀井新教授は「5年後には研究成果を出したい。耳鼻咽喉科専門医として認知症予防に貢献できるよう、県内全自治体への導入を働き掛けていく」と話した。

難聴で知的活動低下や孤立 補聴器使い認知症防ぼう

県内医師ら購入助成要望

難聴は認知症を引き起こす要因とされている。国は2015年に策定した認知症対策の新オレンジプランで、「加齢」「遺伝性」の「二重」を「難聴を危険因子とした。また、英国などの研究グループは17年、認知症の約35%が、リスクとなる疾患や生活習慣を改善することで予防できる可能性がある」と発表。九つのリスクのうち、難聴が最も高く、約9%の人は中年期の難聴を回避すれば防止できる可能性があるとした。小児期の教育期間の短さが約8%、高齢期の喫煙が約5%と続いた。

を招く恐れがある」などとし、難聴と認知症の関連性を指摘。高齢者が増える中、難聴の適切な治療が認知症予防につながると強調する。

補聴器の使用も推奨する。同部会の森田由香医師=新潟大学大学院医歯学総合研究科=は「補聴器を使うことは、認知症の予防や進行を防ぐのに簡単で効果的な方法だ」と話している。

私モ一言 日々の動きに学び考える

新聞で読んだ言葉が思い出せない。日曜、月曜とめくるがない。火曜日の中越面にチンコロの大きな写真。今年は節季市が新型ウイルスのために中止だという。1年前の節季市ではチンコロの座布団を柄違いで3枚選んだ。「来年、復活したら行くからね」。ついつい写真に声を掛ける。

上段に目を移すと「大地の芸術祭」の見出しがあった。そうそう、去年の夏から心配だった。どんな形であれ、開催はうれしい。炎天下、汗まみれで息を切らしていたのも、2年がたれば懐かしさしかない。

先回は村のおじさんにトウモロコシアイスをお勧めされた。今期はそんなやりとりはどうなるのだろう。「でも、夏の妻有に行けるだけよしだよ」。1人でうなずき、切り抜いた。そもそもの目的は…。

生活面の「夜回り先生」こと水谷修さんの記事だった。「而今」という言葉。まったく知らなかった。退職して2年、知らないことはかき増える日々だが、そこは毎日が日曜日の身。よく調べ、よく考えよう。

(燕市・草野里江・無職・66歳)

ゲバゲバ90分!

伝説的テレビマンとして語られる、井原高忠さんとの初めての出会いは、東京・麹町にあった日本テレビでした。彼の番組「巨泉×前武ゲバゲバ90分」に出演オフ

甘口辛口

アアがあつたのです。私はそれまで笑わない役が多く、そんな自分のイメージから脱したいという思いがありました。この番組は最新のバラエティー番組で、短く軽いコントを演じるの

横山 リエ (女優)

ロビーで初対面のあいさつを交わすと、彼はさつと私の荷物を手にとって、「メシ食いに行きましょう」と外に出ました。私はその紳士的で、偉ぶらない軽快な行動に驚くばかりでした。

局近くの洋食屋に案内され「何でもどうぞ」と言われました。緊張でコチコチになっていた私は遠慮して「じゃあ、オムライスを」というと、「そんな安いもんでいいの?」と笑われました。

ただ、それが当たり。あんなにおいしいオムライスは食べたことがありません。あまりのうまさ